

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月17日(金)

事務事業		消防水利整備事業		担当課	警防課	担当係	警防企画係	管理番号	4516	
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1	備えができ安全・安心なまちづくり		根拠法令 個別計画等	消防法				
	小項目	2	消防・救急体制の充実							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		消防水利（防火水槽、消火栓、防火井戸）の整備及び危険因子のある消防水利の撤去等を行い、有効な初期消火及び消火活動ができるよう消防力の充実強化を図るものである。								
目的 ※何のために		消防力の充実強化を図るため。								
対象 ※誰・何を対象に		消防水利。								
手段 ※どのように		整備及び撤去等を行う。								
成果 ※何を求めるか		安定的な消防水利を確保し、市民の生命・身体及び財産を火災から保護する。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
		一般会計	9	消防費	1	消防費	3	消防施設費	消防水利整備事業	41,534,420
本事業の 主な業務		・ 消防水利設置工事							・	
		・ 消防水利の維持管理							・	
		・ 防火井戸等取壊工事費補助金の交付							・	
		・ 消火栓布設替工事負担金の支出							・	
		・ 消火栓維持管理費負担金の支出							・	
		・							・	

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		消火栓設置工事負担金	消火栓設置工事負担金	消火栓設置工事負担金	消火栓設置工事負担金	消火栓設置工事負担金	消火栓設置工事負担金
事業費	予算（現額）	41,307,000	41,593,000	39,260,000	40,310,000	42,605,000	41,598,000
	決算額	39,380,216	34,545,097	37,807,348	40,095,737	41,534,420	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	39,380,216	34,545,097	37,807,348	40,095,737	41,534,420	41,598,000
人件費	従事職員数（人）	0.85	0.85	0.75	0.85	0.75	0.75
	人件費相当試算※	6,612,150	6,614,700	5,895,750	6,915,600	5,821,437	6,098,511
総事業費試算		45,992,366	41,159,797	43,703,098	47,011,337	47,355,857	47,696,511

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	消防水利設置数		目標値	基						
			実績値		3	4	16	17	15	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			開発行為に伴う消防水利の設置もあるため、目標値の設定はできない。/設置数						
	実績値の算出式									
活動指標 2	消防水利の修繕基数		目標値	基						
			実績値		5	3	4	4	5	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			修繕回数が多ければよいものではないため、目標値は設定できない。 / 修繕実数						
	実績値の算出式									
成果指標 1	市街地・準市街地における消防水利の充足率		目標値	%	66.4	66.4	66.4	67.7	67.7	67.7
			実績値		66.4	66.4	67.7	67.7	67.7	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			前年度実績が目標値 / 現有数／基準数						
	実績値の算出式									
成果指標 2	消防水利の稼働率		目標値	%	100	100	100	100	100	100
			実績値		100	100	100	100	100	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			常に使用できる状態に保つことが目標値 / 稼働水利／総水利数						
	実績値の算出式									
成果指標 3	消防水利 1 基あたりに係る維持管理経費		目標値	円						
			実績値		13269.58	11837.73	12554.75	13501.24	13968.16	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			消防水利の修繕等により管理費が増減するため目標値は設定できない / 総事業費／総水利数（公設）						
	実績値の算出式			公設 3 4 6 6 公設 3 4 7 7 公設 3 4 7 9 公設 3 4 8 2 公設 3 4 8 7						
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	開発指導要綱に基づく適正な指導により消防水利の設置数が増加となった。また、水利調査により減水が認められた防火水槽の修繕を行い、維持管理の徹底が図れた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	管内の消防水利不足地域に消火栓を設置したことで、消防水利の充足率向上と消防力の充実強化を図った。また、消防水利の修繕、維持管理を適切に行い稼働率を維持した。
			評価者 補佐兼警防企画係長 坂本 浩

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	環境水道部で実施される老朽管工事に伴う消火栓の布設替え、開発指導等により効率的に消防水利を設置できた。
			評価者 補佐兼警防企画係長 坂本 浩

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	消防水利の充足率向上を図るため、環境水道部と協力し、消防水利不足地域へ消防水利を設置する。また、消防水利の不具合箇所を早期に発見し、修繕を実施することで消防水利の稼働率を維持する。
達成状況及び その効果	毎年実施している消防水利点検結果をもとに、消防水利を計画的に修繕した。また、消防水利不足地域へ消防水利を設置することができた。 消防水利を適切に維持管理し、常時稼働可能としたことで、火災等の災害活動に対して有効な消火活動を可能とした。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	消防水利整備事業	担当課	警防課	担当係	警防企画係	管理番号	4516
<div>■ ①拡充, 重点化(コスト投入)</div> <div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div> <div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div> <div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div> <div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div> <div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div> <div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div> <div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div> <div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div> <div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div>		評価の内容説明					
		火災等の災害活動を行ううえで、消防水利は必要不可欠な消防力であることから、維持管理の徹底を図り更なる消防力の充実強化に努めなければならない。 また、老朽化が著しい一部消防水利については、近隣の水利設置状況等を鑑み適切な対応（修繕、撤去など）を講じていく必要がある。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	次長兼警防課長 高野政之				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	老朽化が見られる消防水利についての調査を継続し、消防活動上必要となる消防水利は順次修繕を実施していく。 また、近隣の水利設置状況や消防装備等の配備状況などを踏まえ撤去と判断した消防水利（老朽化が著しい防火水槽など）については撤去に向けた事務を進めていく。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	老朽化の著しい消防水利の撤去について、事務を継続していく。 また、消火栓の布設替え時には、その対象となる消火栓の能力を見極め、基準とならない消火栓の移設や布設替えについて検討していく。

8. 評価指標グラフ

